

東葛支部会報

創刊号

千葉工業同窓会東葛支部

1999年10月10日



東葛支部創立総会開催

柏市 増尾近隣センター

千葉工業同窓会東葛支部は、6月20日、柏市「増尾近隣センター」において、創立総会を開催しました。

当日は、安藤会長、永峯現校長、景山・段木元校長をはじめ、本部・各支部の役員、会員など、総勢74名にご参加いただきました。総会は、立崎発起人代表による、創立経緯説明の後、規約・会務・予算の各案について審議を行い、それぞれ承認されました。続いて役員を選出に入り、立崎発起人代表が初代の支部長に選出されました。

審議終了後、安藤会長、永峯校長、景山・段木元校長から祝辞をいただき、次いで近隣センターのエントランスにおいて、参加者全員の記念撮影を行いました。

第2部の懇親会は、本部および各支部の沢山の皆様方から祝辞をいただきながら、再会を喜ぶ人、初対面とは思えぬほど話がはずむ人、グラス片手にカメラにおさまるグループなど、和気藹々のうちにあっという間に時間が過ぎてゆきました。

最後は、検見川校歌・津田沼校歌・生実校歌をそれぞれ合唱し、互いに再会を約束し合ってお開きとなりました。

東葛支部創立にあたって



支部長 立崎 作次

当支部は、天候不順の水無月の6月20日に恩師、景山先生、安藤同窓会会長ほか関係者多数の方々のご臨席をいただき、千葉工業同窓会、第9番目の地域支部として、21世紀へ向けて船出いたしました。

創立総会当日、皆様から寄せられた、暖かい祝福と盛大な激励及び数々のドラマは深く脳裏に刻み込まれ、私には終生忘れ得ぬ思い出となるものと思います。

役員一同並びに会員となられた皆様と共に、関係者の方々のご支援に心から感謝申し上げます。

力量不足の私が、皆様からご推挙され、初代支部長として大任を指名され、身に余る光栄に存じます。

一方、その責任の重大さに身の引き締まる思いであります。

当支部創立は、同窓会本部にとっては、全県一校の県立千葉工業にあった母校のプレzensの大きさからして、全県下にその支部を網羅することは至上命題であったと承知していました。そのような背景のもと、昨年10月31日本部主導により設立準備会が開催されました。待望久しい面と相まって、幸いにも、優秀な賛同者に恵まれました。

賛同者は発起人会を結成のうえ、体制の整備を

図り、8か月弱の準備期間を経て、無事創立総会を迎える事が出来ました。その短い準備期間には、関係者の献身的なご指導があった事も付記せねばなりません。

7市(浦安、市川、松戸、柏、我孫子、流山、野田)2町(沼南、関宿)がエリアであり、400名余の卒業生を擁する支部としては、入会数、62名は、残念ですが、若干低調の憂いはあります。しかし、組織率は低調ですが、発起人会が設立趣旨として掲げた「地域会員相互の親睦と情報の交流を図り、会員各位と母校の発展に寄与するため」を原点に据え、役員一同団結して頑張っていきたい意気込みであります。

同窓会は同じ母校に学んだ人々のご縁があります。ある指導書に「ご縁」について記していますが、「水晶は太陽の光を受けるとレンズの働きをする」と、その光を水晶に当てる「ご縁」が大切である。これは、物だけでなく、人間も全く同じである。と説いています。会員相互の親睦の輪は、同窓という「ご縁」の光を当てれば、水晶がレンズの働きをするように、その輪は大きく拡大する事になろうかと思えます。

若い時代に、私達は千葉工業に席を置き、共に学んだ「ご縁」に光を当て、同窓会の発展に微力ながら努めて行きたいと考えています。

最後に、スタートして間もない支部であり何かと未熟な組織であります。本部をはじめ関係者の暖かいご指導、ご鞭撻をお願い致しますと共に、一步一步、着実な歩みをつづけて、更なる発展を図るため、会員の皆様の絶大なるご支援をお願いします。

祝辞 会報創刊に際して



千葉工業同窓会会長
安藤 信吉

東葛支部創立の式典が会員の皆様と各支部幹部の参集により盛大に行われました。

東葛支部設立の中心になった多くの地域の方々と

組織委員会、特に早尾さん、宮内さんという前、現組織委員長の努力の成果であります。厚く敬意と感謝を申し上げます。

このことは全県下に支部をつくろうという組織委員会の強い意志の実現であります。

かつて千葉工業は千葉県唯一の工業学校でありました。

従って生徒も千葉県中から志を抱いて集まってきた時代が相当期間ありました。

それが全県下に同窓会支部をつくる事ができる素地となっております。このことこそ千葉工業の歴史そのものであります。人材輩出の根源はこの時代の学校ぐるみの意気込みの中に見出されるようにも思います。

歴史が人をつくるということの一面でもあろうかと思えます。そのようなことに想いを馳せながら五十数年の歳月と共に、感慨無量でありました。

今回は早速会報を発行されるということを知き、その行動力のはやさに敬服しております。中身の濃い、読んで楽しい会報の完成を期待しております。尚、

来年の同窓会には独創性のある楽しい「だし物」を期待しております。

先日石原慎太郎都知事が多数の高校生との会合で「人生は情熱を演ずる劇場である。」と色紙に書いて示しておりました。さすが作家ともなると見事な表現をするものだと感じました。いわれてみれば私も全く同感だからであります。同窓会もまた、それぞれの参加会員の皆様にとって、情熱を演ずる劇場の一つとなることができれば嬉しい限りだと思います。そうなるためにこそ本部も支部も共々に努力したいと念願しております。

東葛支部報発刊へのごあいさつ

千葉工業高等学校 学校長
永 峯 清 秀



東葛支部の支部会報発刊おめでとうございます。

本校同窓会では以前より、本支部の結成が待たれておりましてだけに、結成に向けてご尽力いただいた、関係者の皆様に心からお祝い申し上げる次第です。同窓会地域支部としては9番目になり、これで全県下隅無く支部が結成されたことになり、今後の同窓会活動の一層の充実が楽しみです。

東葛地域は東京・埼玉・茨城に接し、昔から産業が発達し、人・物の往来が活発で、その伝統を受けて商業・工業の繁栄している都市が多く、人工密集地帯です。

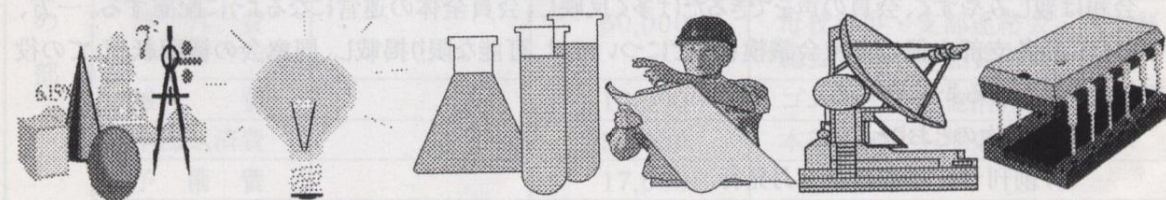
有名企業等も多く、産業界をはじめ各界で活躍

している方が多く、本県のなかでも教育・文化・知識・技術の香り高い地域なだけに、これからの支部活動による情報の発信が期待されます。

さて、本校は創立63年目を迎え、卒業生約19,000名を世に送り、各界で活躍しております。今日、生徒数の減少期を迎え、今年度から工業化学科が1学級減となり、電子機械科、電気科、情報技術科の4学科、20学級規模になったところです。また、実習棟の耐震補強のための大規模改修工事が進行中で、施設設備等も更新しており、職員共々一丸となって本校教育の充実のために努力しているところです。

良き伝統と校風を受け継ぎ、技術革新、情報化等の社会の変化や産業界の動向等に適切に対応できる教育を目指し、高度の専門的知識と技能を有するスペシャリストを育成すべく、魅力ある学校づくりに努力したいと考えております。

支部長の立崎様はじめ会員の皆様のご健勝と支部のご発展をお祈りし、本校への一層のご支援をお願いいたしまして、ご挨拶とさせていただきます。



役員名簿

支 部 長	立 崎 作 次	26C	〒270-2204	松戸市六実6-26-7	TEL.047-385-1617
副支部長	高 橋 健 一	29C	〒270-0157	流山市平和台5-400	TEL.0471-59-9367
副支部長	松 本 十 九 三	30M	〒277-0033	柏市増尾7-4-4	TEL.0471-72-1541
副支部長	住 田 敏 和	31E	〒279-0026	浦安市弁天3-2-68-5	TEL.047-355-2314
事務局長	高 木 昇	36E	〒277-0034	柏市藤心932-4	TEL.047-355-2314
経理部長	吉 田 勝 彦	32E	〒277-0941	東葛飾郡沼南町高柳1514	TEL.0471-91-0232
事務局次長					
常任幹事	田 口 昭	25E	〒271-0077	松戸市根本165-6	TEL.047-364-2905
常任幹事	伊 橋 潤 一	27E	〒270-0157	流山市平和台1-10-6	TEL.0471-59-4620
常任幹事	増 谷 博	31C	〒277-0005	柏市柏3-76	TEL.0471-67-2408
常任幹事	木 間 英 一	33C	〒270-0002	松戸市平賀125-10	TEL.047-343-0455
常任幹事	土 井 啓 太 郎	42M	〒272-0835	市川市国分3-4-16	TEL.047-373-8336
幹 事	前 原 睦 雄	19E	〒271-0094	松戸市上矢切299	TEL.047-363-9452
幹 事	植 草 光 春	27C	〒270-2211	松戸市五香六実735-180	TEL.047-387-0438
幹 事	中 村 軍 治	32M	〒270-1166	我孫子市我孫子386-1-503	TEL.0471-82-3779
幹 事	渡 辺 秀 男	33C	〒272-0104	市川市本塩18-16	TEL.047-357-4504
会計監査	宇 賀 野 政 次	25E	〒272-0835	市川市中国分4-10-21	TEL.047-372-7525
会計監査	竹 内 昭 夫	20C	〒272-0805	市川市大野町4-2400-3	TEL.047-337-8535

平成11年度会務計画書

1. 創立総会の開催

千葉工業同窓会東葛支部創立総会を下記のとおり開催する。

(1)日時 平成11年6月20日(日)

(2)場所 増尾近隣センター(柏市)

2. 会報の発行

会報は年2回発行する。

会報は親しみやすく、会員の声をできるだけ多く反映し、会員全体の運営になるように配慮する。一方、本部はじめ各支部主催の各種会議模様などについては、可能な限り掲載し、同窓会の機関紙としての役割も充分果たせるように努める。

発行予定は次のとおりとする。

(1)創刊号 平成11年9月発行

(2)第2号 平成12年3月発行

3. 創立総会の開催

会員名簿(平成11年度版)は、12月1日に発行する。

4. 地区懇談会の開催

地区毎、または一部合同して地区懇談会を開催し、会員相互の親睦と、人間関係の発展が図れるよう企画する。

なお、地区割りは、当面2区程度を合同し、1(浦安・市川)、2(松戸・沼南)、3(柏・我孫子)、4(流山・野田・関宿)の4ヶ所とする。

5. 渉外活動の展開

会員の増加と組織の発展を図るため、東葛地区の居住者、出身者、ならびに勤務者、および近県(茨城・東京)居住者に対しても入会の働きかけを行っていく。また、後発支部の遅れのハンデを克服するよう努め、果敢な渉外活動を展開する。

- (1) 会員の募集、増加活動を果敢に進め、支部会員増員に努力する。
- (2) 本部主催の同窓祭など、各種集いには大勢参加する。
- (3) 支部連絡会、ならびに他支部との交流は積極的に行う。

6. 各種行事の企画

支部の行事、ならびに研修会、およびレクリエーションなどを企画する。

- (1) 会員親睦旅行、研修会を企画し、会員相互の親睦を深める。
- (2) レクリエーション(ハイキング・トレッキング・ゴルフなど)を企画し、会員相互の体力維持向上に努める。
- (3) 各地域で開催される各種行事へは、できるだけ参加し、親睦を図る。

平成11年度予算計画書

区分	費用	前年度予算	11年度予算	備考
収入の部	本部借入金		200,000	東葛支部準備委員：吉田勝彦
	年会費		177,000	年会費 会員数 3,000 × 59 = 177,000
	寄付金		10,000	
	収入計		387,000	
支出の部	総会費		100,000	会員募集費用・総会準備費用等
	会議費		5,000	常任幹事会等、会議会場費用等
	会報発行費		30,000	
	名簿発行費		30,000	平成11年度会員名簿
	通信費		50,000	会員募集案内・会報・会員名簿等の郵送費・封筒等の諸経費
	渉外費		50,000	母校行事・支部連絡会・他支部総会等への参加費用負担
	雑費		10,000	ゴム印・その他消耗品等
	本部返済費		50,000	本部借入金一部返済
	予備費		17,000	
	支出計		387,000	

創立総会・懇親会模様



支部創立までの経緯を報告する立崎発起人代表



初代役員：

右より 吉田・高木・松本・住田・木間・高橋・伊橋・田口・前原・植草・宇賀野・立崎



安藤会長より祝辞をいただく



永峯校長より祝辞をいただく

創立総会・懇親会模様



左から 景山元校長・永峯校長・立崎支部長



懇親会

東葛支部発足にあたって

副支部長 高橋 健一

私は29-C-A、卒業して45年になります。

私のクラスは卒業した年の11月23日に第一回クラス会を開催、以来毎年かかさず集まっています。今年は46回目どんなメンバーが集まるのか今から楽しみです。私自身、最近こそ毎回出席していますが、当初は出席率が悪く、熱心な旧友の努力で今日があります。

今回本部役員、地域有志の方々の熱意と努力により、東葛支部が発足いたしました。私も旧友の誘い

で北総支部四街道地区会に参加したことから、東葛支部設立のを知り設立準備会に参加、支部発足に伴って副支部長の大役を引き受けることになりました。支部の運営は、会員皆様の協力がなければ出来ません、下駄履きで気軽に参加できる会を目標に微力を尽くすつもりです。よろしくお願ひ致します。支部の行事については、当面会員の皆様の趣味を中心にして親睦を深めたいと考えており、別記のような行事を予定しております。参加したい行事があれば役員まであらかじめ申し出て戴ければ幸いです。

その他、こんなものを計画したらという企画がありましたら、役員へ積極的に提案して下さい。

夢 遊

副支部長 松本 十九三

私の60歳の思い出に、女房とヨーロッパの山を登りました。

現地の登山の楽しみ方は、ケーブルで行ける所まで行き、体力技術のある人はさらに頂上を目指して登り、自信のない人は山を下りながら散策を楽しんでいるようでした。

老夫婦のカップルや、子どもを背い子にのせて歩いている若夫婦も多く見かけました。

私達は、モンブランのエギュール・デイ・ミデイから、エルブロンネまでケーブルで行き、高度約3,800mの氷河へ降りて、20～30分氷河を散策していたら、日本流でモンブランの肩の小屋がありました。すぐ隣にはグランドジョラスがあり、その他の鋭峰も立ち並んでいて、遠くはマッターホルンまで見える所の山小屋です。

もちろん一泊しましたが、夕日・朝日に輝く山々は言葉に現せぬ程すばらしいものでした。

帰りは山小屋からエギュール・デイ・ミデイまで、氷河を約4時間トラバースしました。

千葉工業にあこがれた頃

副支部長 住田 敏和

中学生の頃、私の家は津田沼校舎から3キロ程の所にありました。津田沼校舎はグラウンドが広く、キャッチボールやバッティングなど、誰にもとがめられること無く自由に出来たので、日曜日には何人かの友達と、よく歩いて遊びに行きました。

実習棟の窓からは、旋盤や初めて見る色々な機械、化学の実験装置などが見え、覗くのが楽しみでした。その頃から「俺は電気科に入るぞ……!」と決めていました。

先生は「心配だから船校も受けとけ……」、といってくれましたが、私は「落ちたら秋葉原の電気屋の店員になるからいいよ……」と行ってつっぱったことを覚えています。あれから40数年、当時のことを懐かしく思い出しながら、東葛支部の設立に参加させていただいたところ、副支部長を仰せつかり、会報の編集をやらせていただくことになりました。

会報には、できるだけ多くの会員の皆様にご登壇願って、楽しく読んでいただける紙面にしたいと思います。

皆様からの、沢山のご投稿をお待ちしています。

千葉工業は私の喜びの学校

事務局長 高木 昇

憧れて、憧れて入った千葉工業……

なぜ憧れたか、私の出身は茨城県、茨城県にも、水戸・日立と優秀な工業高校があったが、越境してまで千葉工業を選んだ理由があった。

たまたま私の叔父が佐原の中学校の教師をしていた。

叔父が、「なあ昇、お前は高校卒業し、すぐ就職するならば、就職率がよく、しかも、大きい会社に入れる学校に進学した方がよい。千葉工業は千葉でも1、2を競う学校。大きな会社も、千葉工業出身の生徒ならば必ず引き受けてくれる。勉強して千葉工業に入れ」といわれた。

私は、それまで、近くの高校に入り、近くの会社にはいることで勉強してきたが、入るなら大きな会社が良いと考え直し、叔父にいわれた千葉工業を目指すよう切替えた。

叔父は、入るためには平均点で8割(当時は9科目)を越さないと入れないぞといわれた。

その当時、私の実力からすれば、到底入れるレベ

ルではなく、田舎のため塾もなく、学校も授業が終われば補習もなく、家に帰るだけで、自分一人での勉強では、千葉工業に入れないで当然。

そこで、佐原高校を受験する友人二人と、当時の担任の先生(26歳で、私の家の近くに下宿していた)にお願いし、夜に教えてくれるようお願い、先生は快く引き受けてくれた。寒い冬の夜も、炬燵もないところで、夜10時近くまで教わり、終わったあと、ラーメン等を食べさせてくれ、帰ったことを思い出す。又、冬休みに叔父からは、叔父の通っている学校で補習授業があるから来いといわれ、通ったのも、今となっては、いい思い出である。

回りの人からの協力で、私も無事千葉工業電気科に受かり、家族全員で喜んでくれ、夜も寝れないほど嬉しかったことを思い出す。

卒業後は、現在勤めている日本建鉄に就職、会社には「日本建鉄千工会」があり、優秀でやさしい、指導力のある先輩の方々に尻をたたかれ、指導を受けたことが、今の自分があると考える。

これからも、「千工会東葛支部」と「日本建鉄千工会」において、千葉工業会を大切に、発展させてゆきたいと思います。

東葛支部創立を祝う

経理部長・(事務局次長)

吉田 勝彦

発起人会並びに創立総会に出席して恩師のこと、津田沼校舎で学んだこと等々、想いだし、久しぶりに青春時代に返ることが出来ました。

又、不明だった先輩、同級生、後輩の消息も、何名か知ることが出来ました。

縁あって共に千葉工業で学び、縁あって東葛地区に住み、活躍している皆さん……!!

今後、ハイキング、ゴルフ、囲碁、ソフトボール、麻雀大会等々、会員相互の楽しく有意義な親睦会を種々企画、実行する予定です。

是非参加して下さい。そして青春時代に戻り、共に校歌を歌いましょう。

会計を担当している吉田です。(昭32E卒)。一生懸命やります。

今後共、よろしくごお願い致します。



皆様の趣味や得意とするものをご連絡下さい。

会員の皆様は、色々な趣味をお持ちだと思いますが、比較的ポピュラーと思われるものについて、役員の中なかで一応の担当者を決めました。今後、会員の皆様の趣味・得意な分野・特技などを把握し、当支部

はもとより、本部や各支部が計画する、色々な行事や交流にお誘いしたいと考えています。

趣味やご自分の得意な分野が一致した方は、それぞれの担当者までご連絡下さい。

● ゴルフ	吉田 勝彦	〒277-0941	東葛飾郡沼南町高柳1514	TEL.0471-91-0232
● ソフトボール	木間 英一	〒270-0002	松戸市平賀125-10	TEL.047-343-0455
● 麻雀	高橋 健一	〒270-0157	流山市平和台5-400	TEL.0471-59-9367
● 囲碁	〃	〃	〃	〃
● 登山	松本十九三	〒277-0033	柏市増尾7-4-4	TEL.0471-72-1541

秋のハイキング開催のお知らせ

11月3日文化の日に、日帰りハイキングを行います。

詳細は後日はがきで皆様にご案内しますが、清澄山周辺の予定です。

今後の予定

日帰りハイキング	11月3日
京葉支部とのソフトボール大会	未定
囲碁大会	未定
ゴルフ大会	11月18日
麻雀大会	未定
忘年会	12月
会報第2号発行	平成12年3月
支部総会	平成12年4月

本部・他支部予定

本部麻雀大会	10月30日
NTT千工会	11月27日
船橋市役所千工会	12月3日
支部交流忘年会	12月
千葉西支部総会	平成12年2月
南総支部総会	平成12年3月

新入会員募集と入会手続きについて

誕生したばかりの東葛支部では、会員を増してどんどん組織を大きくして行きたいと思っています。このため、役員の中なか「会員増促進委員会」を作って活動しています。

会員の皆様の仲間で、会員資格のある方がいらっしゃいましたら、ぜひ入会を勧めて下さい。

1. 入会資格 千葉工業学校、千葉工業高校、および同校併設中学校の卒業生、並びにかつて同校に在学していた方で支部長が認めた方。

東葛地域に居住している方、または出身が同地域の方、同地域に勤務されている方。

2. 会費 年会費 3,000円

3. 入会手続 役員へ入会申込みされますと郵便振替用紙をお送りしますから、年会費3,000円を振込願います。

支部会報第2号の原稿募集

東葛支部会報第2号の原稿を募集します。

1. 発行予定 平成12年3月
2. 原稿締切 平成12年2月
3. 内 容 母校の思い出・恩師の思い出・私の職場・私の仕事・私の趣味・私の特技・旅日記・近況・クラス会模様・エッセイ・呼びかけ等、何でも結構です。
4. 投稿方法 卒年科・ご氏名を記入の上、郵便・FAX（自動受信）・E-mailのいずれかでご投稿下さい。
5. 投稿先 編集委員長 住田 敏 和 〒:279-0026 浦安市弁天3-2-68-5
TEL/FAX:047-355-2314 E-mail:sumita@sunfamily.co.jp



ありがとうございました

東葛支部会報

創刊号

発 行	平成11年10月10日
発 行 者	千葉工業同窓会東葛支部
発行責任者	支 部 長 立 崎 作 次
事 務 局	事務局長 高 木 昇
編集責任者	編集委員長 住 田 敏 和